

## 第 102 回二科巡回展（京都展）

2017 年 10 月 24 日（火）～29 日（日） 京都市美術館別館

### ● 絵画部 彫刻部

第 102 回京都展は、京都市美術館の改修工事のため今年から京都市美術館別館で 2017 年 10 月 24 日（火）～29 日（日）の 6 日間、開催されました。美術館と違い別館の展示スペースが手狭なことから、写真部、デザイン部に無理をお願いし点数、展示スペースの縮小などに協力していただきました。

絵画部は京滋の会員、会友、一般出品者、全国廻りの評議員までの会員の 120 点（101 回展は 151 点）、彫刻部が 15 点の展示となりました。

今回の展示は、作品点数、大きさなどギリギリの状態、手狭な会場は一見迫力を感じますが、絵の間隔も十分取れず、引きもなくただただ圧迫感のみを感じさせてしまうばかりで、空間の大切さをつくづく感じました。これから、いい形で後 2 年追行する事が求められた 102 回展でした。また、搬入当日台風の影響により一部搬入が遅れ展示作業時間が短く、かなりの困難を伴いました。そんな中でも、例年通りギャラリートークを 24 日（火）・28 日（土）に、ギャラリーコンサートを 28 日（土）に無事行われた事は一安心といったところです。

受賞者は、山岡明日香が二科賞と会員推挙のダブル受賞に、会友賞に水元美穂子、特選に野田喜美代、会友推挙に加持友子、三津川好則、若狭洋子、長谷川晴香、柳澤綾子と本年も多くの作家が活躍しました。

### ● デザイン部

デザイン部は全国巡回作品 58 点と京・滋関係一般の 4 点と合わせて 62 点の展示。

今年は、会場が狭くなったせいで自由テーマ・ポスターや特別課題「持続可能な観光国際年」をテーマとしたポスターを中心にイラストやマルチグラフィックの 4 部門にわたり、ギュウギュウ詰めの展示となった。

ポスター部門の藤本恵一郎（京都）の作品が京都新聞賞を受賞し華を添えた。

### ● 写真部

今年から三年間会場が代わる為不安と心配をしていましたが、たくさんの来館者に恵まれ、ホッといたしました。今年の写真部は、展示構成に苦労しましたがコンパクトで見やすい会場になったと思います。

展示期間、西岡名誉会員と八木会員がギャラリートークを行い、こちらも大変好評でした。来年の一般公募に新しくアートフォト部門ができますので若い方々に感性の高いアートな写真を応募してください。もちろんベテランの方々も応募してください。

二科会発展の為に写真を愛してる人は愈々気持ちを新たにして鋭意制作に精進していきましょう。

